

ともに向き合う **摂食障害**

シンポジウム

～当事者の現状と治療の最前線～

近年、患者数が増加しているといわれる「摂食障害」。その認知は広がりつつあるものの、当事者は声をあげづらく、治療ニーズの把握や支援体制の整備も、進んでいるとは言い難い状況にあります。摂食障害当事者の困り感や辛さとは？家族や周囲はどう対応すれば？摂食障害を生む社会背景とは？治療の最前線と当事者の声から、皆さんとともに考えたいと思います。

■ 13:30 開会

■ 13:40 基調講演



福岡県摂食障害支援拠点病院の取組み

たかくら しゅう 九州大学病院 心療内科 講師 / 福岡県摂食障害支援拠点病院
高倉 修 先生

九州大学病院で摂食障害の診療と研究に携わっている。日本摂食障害学会理事なども務める。



米国の摂食障害治療と日本における可能性

めら たかし 八幡厚生病院 診療部長
米良 貴嗣 先生

八幡厚生病院で摂食障害の診療に取り組んでいる。日本摂食障害学会評議員なども務める。

■ 14:40 当事者からの報告



アンケート調査からみる当事者の実態

えがみ あやね ふくおか摂食障害ともの会 代表
江上 彩音

中学生の頃に摂食障害を発症。発症から20年以上を経て、現在は寛解。会社員として働く傍ら、2022年にふくおか摂食障害ともの会を設立。

当事者の体験談

RYO / SAKI ふくおか摂食障害ともの会 会員

RYO / ふくおか摂食障害ともの会 会員。大学生。高校生の頃に摂食障害を発症。拒食・過食を経験し、現在回復中。2023年9月からふくおか摂食障害ともの会に参加。

SAKI / ふくおか摂食障害ともの会 会員。大学生。中学生の頃に摂食障害を発症。拒食・過食を経験し、現在回復中。2024年1月からふくおか摂食障害ともの会に参加。

■ 15:30 パネルディスカッション

■ 16:00 閉会

2024

10/27(日)

13:30～16:00 (13:00開場)



当日オンライン配信

会場

福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん セミナールーム
(福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F)

参加費

無料

定員

会場80名
オンライン100名(先着順)

申込

10/24(木)締切

左記のQRコードか、以下のURLからお申し込みください。
会場参加とオンライン参加をお選びいただけます。



<https://tomoni-symp.peatix.com/>

ふくおか摂食障害ともの会

摂食障害の自助グループ。福岡県在住の当事者が発起人となり、当事者同士の交流や情報共有の場づくりを行っている。当事者が気持ちを分かち合う場としての「オンライントーク」開催のほか、SNSでの情報発信やシンポジウム開催など、福岡県に限らず全国の当事者との交流を目指し活動中。

HP: <https://www.fukuoka-ed.com>

▼公式サイト



▼Instagram



お問い合わせ **ふくおか摂食障害ともの会** Email: fukuoka.ed@gmail.com

本シンポジウムは、大和証券財団ボランティア活動助成を受けて開催しております。